

# 三条教区通信

第 45 号

発行日 2011年3月1日  
発行者 三条教務所長 鷺尾 幸雄  
発行所 真宗大谷派三条教務所  
〒955-0071 三条市本町 2-1-57  
変更⇒ E-mail: [sanjo@higashihonganji.or.jp](mailto:sanjo@higashihonganji.or.jp)  
URL: <http://www.gobosama.net>  
★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

## 今月の法語

〔法語カレンダーより〕

帰命は  
本願招喚の  
勅命なり

【教行信証行巻】

## 研修会等ご案内

### ■教学研修会

開催案内既送

- ◆期 日 2011年3月1日(火)～2日(水)
- ◆会 場 教区同朋会館
- ◆講 師 三木彰円 氏(大谷大学准教授)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)まで

### ■「差別と真宗」基礎講座

開催案内既送

- ◆期 日 2011年3月3日(木)
- ◆会 場 柏崎市産業文化会館第二会議室
- ◆講 師 中島 義紘 氏  
(願興寺衆徒・元県立高校教諭当部門スタッフ)
- ◆講 題 「真宗門徒と部落問題」
- ◆その他 当研修会は、教師陞補に必要な、受講書が発行される研修会です。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀・北島)まで。  
〔主催:「差別と真宗」共学研修会部門〕

### ■住職研修会

開催案内既送

- ◆期 日 2011年3月9日(水)
- ◆会 場 三条教区同朋会館
- ◆講 師 菅原 伸郎 氏  
(東京医療保健大学教授、元朝日新聞宗教・学芸記者)

- ◆講 題 「智慧・慈悲・方便  
一大谷派だからできること」
- ◆その他 当研修会は、教師陞補に必要な、受講証が発行される研修会です。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

### ■声明基本講習会

開催案内同封

- ◆日 時 2011年4月4日(月)
- ◆会 場 三条教区同朋会館
- ◆内 容 得度受式者向けの講習  
葬儀式を中心とした講習
- ◆指導員 声明講習会部門スタッフ
- ◆受講料 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。  
〔主催:「声明講習会」部門〕

### ■若手寺族研修会

開催案内同封

- ◆期 日 2011年4月13日(水)～14日(木)
- ◆会 場 13日:第21組浄泉寺 14日:第13組善行寺
- ◆講 師 武田 定光 氏(東京教区因速寺住職)
- ◆内 容 『宗祖親鸞聖人5章・6章』をテキストとした講義及び座談。
- ◆問 合 せ 三条教務所(担当:森)まで。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

## 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌



## ■御遠忌讃仰教区の日

開催案内既送

- ◆期 日 2011年3月31日(水)
- ◆会 場 真宗本廟・渉成園
- ◆内 容 田んぼアート米・清酒 進納お練り  
田んぼアート米・清酒 採納式  
震災時の炊き出しの振る舞い  
災害シンポジウム  
文弥人形(国・無形民俗文化財)の上演  
雅楽ライブ  
三条教区関係者の集い
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回  
御遠忌委員会

### 本山御遠忌法要団参について

各団体に団参誘導員である職員から連絡があったと思いますが、行程全体については各旅行社さんと十分ご相談くださり、快適で意義深い参拝となりますよう念じております。

2011年	
第一期法要	3月19日～3月28日
第二期法要	4月19日～4月28日
第三期法要	5月19日～5月28日
御正當報恩講	11月21日～11月28日

### 団参席について

御遠忌間近となりましたが、急な教区指定団参席の空きが出ております。教区として団参を新たに組むことは困難ですので、希望者がおられましたら、教務所までご連絡ください。詳細は別紙のとおりとなっております。

### 御遠忌音楽法要の合唱曲について

宗派 HP の「御遠忌関連ダウンロード」に御遠忌音楽法要の次第、楽曲、楽譜等が掲載されました。

●音源 ●楽譜 ●団体参拝配布用冊子いずれもダウンロードできますのでご活用ください。

アドレス

<http://www.higashihonganji.or.jp/goenki/download/detail6.html>

御遠忌法要の各期 26 日速夜に厳修される『宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌音楽法要の合唱曲』が制作されました。

この音楽法要は、宗門が同朋唱和推進事業を展開する中、その一環として、僧侶・門徒が共にお勤めし、誰もが親しめる法要となることを願っております。新しく法要次第も編成されており、一人でも多くの方とお勤めできるよう伽陀・三帰依・回向が現代語訳されてメロディーが着けられております。

作曲 新実徳英氏(桐朋学園大学院大学教授・東京音楽大学客員教授)

### 子ども御遠忌について

本年1月末を申込期限としておりましたが、出仕申込者が少ないため、3月末まで延長して受け付けます。

得度されているご息や、有縁の方にご奨励くださいますよう、何卒お願い申し上げます(親子での出仕も可能です)。

子ども御遠忌では、各教区・組・寺院における子ども報恩講の際にも活用でき得るよう、『子ども御遠忌勤行本』を調製し、子ども御遠忌当日に使用します。

各教区・組・寺院等において、是非お稽古をしてご上山ください。

詳細は『真宗』11月号78ページをご覧ください。

### キャラクターのデコメの配信について!(^o^)!

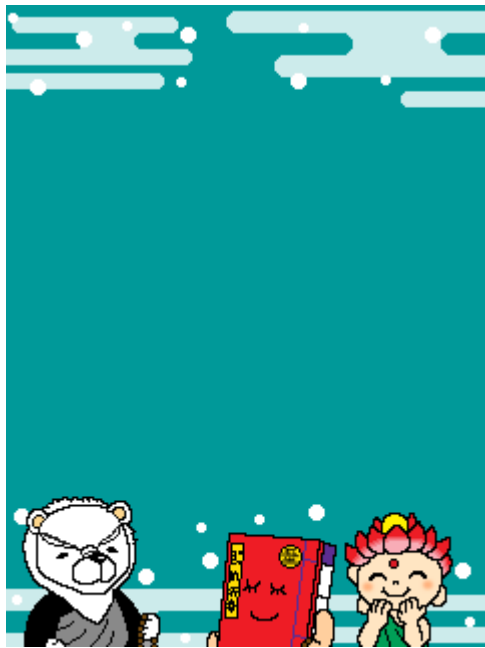
順次配信されていきます。「ゆるキャラさみっと協会」のケータイホームページからダウンロードして是非ご活用ください。 <http://yuruchara.com/>

★ 鸞恩くんよりメッセージ

ワシらのデコメを有縁の方々にはいっぱい送って、「これ何のキャラ?」というやりとりを通じ、皆でしんらんさまの御遠忌をPRするのじゃ。5月4日の子ども御遠忌のPRも忘れずに頼むぞな～!

デコメテンプレート(2種:鸞恩くん・三体)





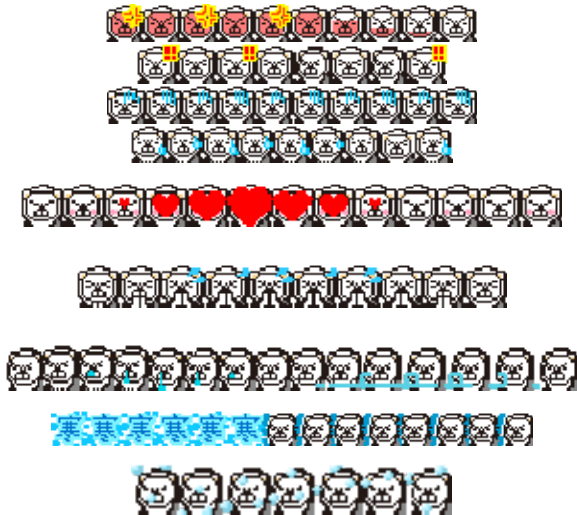
鸞恩くん デコメピクチャ (2種)



鸞恩くん プチデコ (2種)



鸞恩くん デコメ絵文字 (9種)



蓮ちゃん デコメ絵文字 (3種)



あかほんくん デコメ絵文字 (3種)



### 本山御遠忌関連各種行事について

『真宗』誌9月号以後の号、『御遠忌ガイドブック』にて法要出仕や各種イベント案内が掲載されております。

### 白洲休憩室のVOD(ビデオオンデマンド)

#### 機器について

視聴覚伝道委員会制作の教化教材や宗派が制作した広報用ビデオプログラム等、全57タイトルが視聴できます。なお、タッチパネルで簡単に操作できますので、ぜひご覧ください。\*操作可能時間:午前9時から午後4時まで

ジャンル	連番	タイトル
親鸞聖人と七高僧	1	親鸞への道
	2	八太のともだち
	3	龍樹菩薩
	4	天親菩薩
	5	曇鸞大師(前編)
	6	曇鸞大師(後編)
	7	道綽禪師
	8	善導大師(前編)
	9	善導大師(後編)
	10	源信僧都
	11	法然上人(前編)
	12	法然上人(後編)
	13	聖徳太子(前編)
	14	聖徳太子(後編)
真宗大谷派の取り組み	15	真宗本廟を観る
	16	帰敬式
	17	真宗本廟奉仕のご案内 同朋会館
	18	御真影動座式で誓いを新たに
	19	御影堂御修復現場視察
	20	2004年御遠忌への歩み
	21	2005年御遠忌への歩み
	22	2006年御遠忌への歩み
	23	2007年御遠忌への歩み
	24	2008年御遠忌への歩み
	25	2009年御遠忌への歩み
	26	世界最大の木造建築に挑む
	27	国宝『教行信証』
	28	750年 伝承される仏事
	29	2010年御遠忌への歩み(登録作業中)
経典・仏典童話	30	仏陀との出会いー王舎城の物語ー
	31	ふくろうの夢
	32	パンタカ二人
	33	蜜のしずく
	34	消えない灯明
	35	指輪
	36	心のはかり
	37	約束
	38	ひとくちの水

	39	花いちりん
	40	けし炭
	41	白い小鳥
	42	けしの種
	43	いのちのはかり
	44	土まんじゅう
	45	捧げ物
	46	潤れ井戸
	47	父と子
	48	いのち
	49	怨みを超えて
	50	大きな木
	51	お粥
	52	火のかんむり
	53	少年
	54	月あかりの道
	55	仲直り
	56	毒蛇の夢
	57	アングリマーラの出家
インフォメーション	58	インフォメーション(境内地図)

### 境内販売所の販売品について

団参記念品カタログは引率責任者あて送付されましたが、阿弥陀堂前の常設販売所のカタログを希望の方は、教務所までご連絡ください。ただし、販売所では通信販売を行っておりません。また、教務所や本山において記念品販売の取次ぎや発送もできません。

## 教化委員会からのお知らせ

### 三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第29回目は、研修部会委員の金井勝代氏です。

\*\*\*\*\*

### 「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

第12組専正寺 金井勝代  
大谷スカウトの願い

スカウト活動はビーバー(小1～小2)、カブ(小2～小5)、ボーイ(小6～中3)、ベンチャー(高校)、ローバー(大学)と一貫した教育です。

そして、心の柱として、又行動の規範として「やくそく」と「さだめ」、「ちかい」と「おきて」の実践、その底に流れるものは信仰心、宗教そのものです。

スカウト活動が他の青少年活動と違うところは宗教を

基盤としているところです。又、教育規定には「加盟員がそれぞれ明確な信仰を持つことを奨励する」とあり、ボーイ、ベンチャーの年代では具体的な努力がプログラムに組み入れてあります。スカウト活動は野外を教場とし、自然観察・研究はスカウト教育の大切な柱であります。大自然の中での活動を通し「いのちの不思議」に接し、「いのちの営み」に出会うことは情操(宗教的感性)を育む絶好の機会ではないでしょうか。そうした中で「ほとけの子」としての感覚を大切にし、やがて明確な「真宗の教え」を聞く身となることでしょう。

活動を通じ、仲間があり、保護者、リーダー、自然、森羅万象が支えあい「おかげ様」でと共に感じ合えることの大切さ。これこそスカウティングは目指している。「奉仕の精神」「人間とは」「生きるとは」生まれた意義と生きる喜びを見つげられるよう願うばかりです。「大谷スカウト手帳」のテキストの前文の一節、大谷スカウトとは、を紹介します。

大谷スカウト

それはゆるぎなき路線を求めて

み仏と私が共同作業する

それが大谷スカウトだ

※次回は研修部会委員の楠雅丸氏(第18組西源寺)よりご執筆いただきます。

### 児連活動報告とお願いについて



去る2月18日(金)、児連のメンバーにより、新作大型紙芝居が約半年の歳月を経てようやく完成しました。この大型紙芝居は、児連の年間事業である「子ども会巡回」で披露する予定です。

児連では、年間を通して「子ども会巡回」を行っており、依頼を受けた幼稚園・保育園・お寺などに出向き、ゲームや紙芝居を通して、次世代の宗門を担う青少年に対する教化に資するべく活動を展開しております。

新型紙芝居の完成を機に、ぜひ、児童教化のお手伝いをさせていただきます。よろしく願いいたします。



靖国交流学習会兼歴史講座のご報告



去る2011年2月9日(水)・10日(木)、京都の大谷婦人会館を会場に、当部門の事業である「交流学習会兼歴史講座」を開催した。

今回は、写真のとおり「ナムナム大集会4」(9日)と「大谷派9条の会」へ参加し、部門スタッフの学習会としての開催。「ナムナム大集会4」の講師は森達也氏、「大谷派9条の会」の講師はダグラス・ラミス氏。全国から様々な人が集まり、様々な考えに触れ、懇親会も含めて刺激のある交流学習会になったのではないかと思います。



## 児童夏の集いスタッフ募集

三条教区では毎年、「三条教区児童夏の集い」を開催しています。

今年は、7月27日(水)～29日(金)、鷹の巣キャンプ場にて、2泊3日のキャンプを行います。普段と違う生活で輝く子ども達の眼が、スタッフにも「新しい発見」を連れてきてくれます。また、夏の集いには毎回、若手スタッフも多く参加し、スタッフ同士の交流の場ともなっています。

ご寺族・ご門徒関係なく、ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしています。問い合わせは三条教務所担当(五辻)までお願いします。

## 教務所からのお知らせ

### ◎御遠忌期間中の事務について

既にお知らせいたしておりますとおり、御遠忌期間中教務所の事務は変則的となっております。教区の皆さまには何かとご迷惑をおかけいたしますが、宜しくお願ひ申し上げます。

また、この『教区通信』はじめ教区内の定期発送物、HPの更新など、4月・5月・6月共に中旬、7月は初旬となる可能性が大きいので、予めご了承くださいませようお願ひ申し上げます。

### ◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

### ◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」

(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これま

で放送された番組をお聴きいただくことができます。  
是非、ご聴取ください。

**ラジオ放送「東本願寺の時間」**

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

☆2/20～4/2 園村義成 氏(奥羽教区)

☆4/3～5/14 片山寛隆 氏(三重教区)

☆5/15～6/25 海 法隆 氏(東京教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

\*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

**◎ 教区他 主な行事予定一覧(2月23日現在)**

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日 時	行事内容
<b>2011年</b>	
<b>3月</b>	
3/1	～2日 教学研究会(三木彰圓氏)
3/2 14:00	真宗教団連合新潟県支部研修会
3/3	10組差別と真宗学習会
3/4 14:00	夏の集い会議
3/5	～6日 15組推進員養成講座(別院)
3/7 14:00	参事会
3/9	住職研修会
3/10	15組門徒会
3/11 14:00	～12 御遠忌オープニングの所長会 19組同朋総会
3/12	本山御遠忌オープニングイベント
3/18	～19日 三条別院彼岸会
3/19	～3/28 本山御遠忌第一期法要
3/26	10組報恩講
3/29	～4/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
3/31	御遠忌讃仰三条教区の日(於本山) 御依頼適正審議会委員・「差別と真宗」協議会員任期満了
<b>4月以降の予定</b>	
4/1	～3 日本山春の法要 スカウト研修会
4/3	～4日 三条別院子ども奉仕団

4/4	声明基本講習会
4/5 14:00	御遠忌委同朋会運動推進部会小委
4/7 16:00	同朋会教導代表者会
4/8 午後	15組別院清掃奉仕
4/9	真宗学院
4/13	～14日 若手寺族研修会
4/15	女性研修会スタッフ会
4/16	真宗学院
4/19	～4/28 本山御遠忌第二期法要
4/23	真宗学院
4/29	～5/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
4/30	真宗学院
5/7	真宗学院
5/14	真宗学院
5/19	～5/28 本山御遠忌第三期法要
5/20	～21日 三条仏教会花祭り
5/21	真宗学院
5/28	真宗学院
6/4	真宗学院 保育大会・新任研修会 20組公開講座
6/11	真宗学院 19組推進員養成講座
6/13	15・16組育成員研修
6/18	真宗学院
6/25	真宗学院
6/30	教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
7/2	真宗学院
7/9	真宗学院 19組推進員養成講座
7/16	真宗学院
7/23	真宗学院 前期試験
8/20	真宗学院
8/21	真宗学院特別講義
8/27	真宗学院
9/3	真宗学院
	真宗学院前期教師修練
9/10	19組推進員養成講座
9/24	真宗学院
9/30	査察委員任期満了
10/1	真宗学院
10/8	真宗学院 19組推進員養成講座
10/15	真宗学院
10/22	真宗学院
10/29	真宗学院
11/5	～8日 三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12	真宗学院
11/19	真宗学院 19組推進員養成講座
11/21	～28 日本山御正當報恩講

11/26		真宗学院
12/2		～4日 19組養成講座後期上山
12/3		真宗学院
12/10		真宗学院
12/17		真宗学院学年末試験
12/31	11:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
<b>2012年 同朋会運動50周年</b>		
1/1	00:00	三条別院修正会
2/25		～26日 真宗学院一泊研修会
3/31		教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30		参議会議員任期満了

## 駐在教導のつづき ～北島之篇～

先日、新潟日報の夕刊(2月10日)を何気に読んでいた。そこにはヴィンテージジーンズの話が載っていた。「そういえば、若いころ(20代前半)ヴィンテージ流行ってたなあ・・・」と・・・少し懐かしさを感じながら。

当時、どのくらい浸かっていたかという、大学の授業の合間は、数人が雑誌の切り抜き持参で寄合ひ、ヴィンテージ談義。自称「ヴィンテージ同好会」と呼んでいた。そこではジーンズが生まれてきた当時の背景や、歴史を語り合ったり、その息遣いのわかるジーンズの匂いをかいだり。ただの道楽を超えたものがあつた。今回の新聞には、そのような話が冒頭載っていた。ゆえにますますその先の文章を読みたくなった。(注: 当方、字幕の映画に対応できないくらい、文字を読むのが遅く、苦手である)

読み進めていくと次に気になるのは、その文章を誰が書いているか? である。「誰だ?・・・ん?」なんとそこには「ヴィンテージ同好会」の部長的な存在の F 氏の名前があつた。そりゃ懐かしい味わいのある話・・・

彼は、確かに大学(大谷大学)卒業後、大手ジーンズ会社への就職を希望。ジーンズに賭けた厚く濃い履歴書兼論文を作成。その会社には就職できなかったものの、結局、全国的なヴィンテージ路線のショップに就職。いまやその会社の企画・広報を担当しているそうである。

短期大学からの編入を共にめざし、一楽氏(現大谷大教授)のもと勉強していた当時、彼が書いた卒論は確か? 『無碍の一道』。「いろいろなことがあつたのだろうが、ここまで歩んできたんだよなあ」。なんて励まされた。

せっかくなので、彼が手がけたジーパンを購入することに・・・。時代は変わって mail でやり取り。もちろん内容は当時の休憩時間のように・・・。「さすが部長!! 生地ですね?」今は生地の厚さから話が始まりました。しかし、これが楽しいわけで・・・。

そんな F 氏の連載が、新潟日報の夕刊で毎週木曜日、全15回で始まっております。その名も『ヴィンテージの世界』。皆さんをヴィンテージの世界へ誘ってくださるでしょう。なお WOWWOW の「ヴィンテージ・ジーンズハンター」にも出演しているとか・・・。ともあれ、ヴィンテージは深いのです。

## 所員のささやき ～竹内之篇～

このたび、真宗教団が宗祖といただく親鸞聖人の七百五十回御遠忌をお迎えいたします。

お待ち受けの期間、真宗教団全体が宗祖といただく親鸞聖人、そして元祖法然聖人など七高僧・太子・釈尊はじめ、幾多の先師宗門人の御教えに、精魂を傾けて参った数年間だったと思います。

自身、世事と私事にかまけ、且つ狭い身と小さな頭ながら、共々に自身を教導する教学教化の道を求め、右往左往し紆余曲折しながら彷徨った記録はブログにも掲載しました。日常の表にはさほど現れなかったと思いますが、自分でも意外なほど仏教漬けの数年間であつたといっても過言ではありません。寺院も諸個人もそれぞれのところで頑張ってきたながら、何か欠けているように感じたことから、今一度、何に惹かれたのか、何が求めで、大事だったのか、世界全部から問われたとも思います。「ブツダ」に関することは、現代において殊に関心を持たれておりますし、その響き自体を自身讃嘆したつもりですが、反面貶めもしたかもしれません。その響きの大きさと重さを思った数年間でもありました。

教団や世界の現状と問題点と展望を明らかにする必要と同時に、力の及び難さも感じます。

同時に身は縁を賜り教務所という宗務行政に置かれています。宗門教区の諸事業について、私的责任心を交えながら職員としての感想を、御遠忌以後を見据えて試みにいくつかリストアップしてみます。教団は現状こうだが、こうあるべきで、その為にはこうなくては、といった内容を揉んでゆき、実行するのが本山や教区の諸機関だと思ひます。

はじめに感じますのは、事業数が多過ぎ情報交換とか連携どころではない。事業消化は概ねされてきましたが、点検も共有されていない。事業支援策も講じられない。重要且つ関心の強い研修会や会議にも、週に3日も続いて出席できないという意見も。また、少なからぬ住職寺族の方々には前から思っておられるわけですが、兼職や子どもや家族や地域や本山・教区・組のことで、皆さん忙しくて、何とか寺務は形だけ走りながらこなすけれども、寺の中のことすら分らん、と。御門徒さん方も同様かと存じます。

スローガンの具体化策にも関連しますが、地域的な宗教事情の違いがあり、一定の方針では間に合わないような気もします。

当然かも知れませんが、地域で政治経済社会事情も微妙に違っていて、それにいろんな宗教や産業企業や

政治的社会的グループが複雑に絡み、対応が難しいのも事実です。僧俗のつとめが従って、教学的問題とも絡んでいるかもしれませんが、場と地域によって一概には言えない面もあるのではないのでしょうか。

おまけに現代は情報化社会であり、多様化も著しい。個の尊重に繋がれば良いのですが、裏返すと個の孤立化や分断という懸念もあるわけです。

これらの事情から、地域振興一体ともなった生活の運動としての寺やご門徒の集まりを求めますとき、その在り方を求め、具現化する事例が提示されると参考になるのですが……。しかしもちろん、ほかの在り方が悪いともいえません。ウチなんか「過疎化で崩壊済み」の安塚区ですから、振興つつあって、むしろ自然や第一次産業を地道に保護育成してゆく方を、個人的には願っています。

教団の寺全体としては同業者の集まりという面もあり、ばらつきもあり派閥もあっても、それに関しては、必ずしも生かせないとは思いませんし、無理に統一するべきでもないのかもしれないと思っています。しかし、連帯も弱いのは、一考の余地があると感じます。

一方、住職寺族の研鑽も儀式などのかたちも交えつつ、進めておられるのは良い点だと思います。

本山・教区・組の研修事業を見直し、本山でやっていることと教区でやるべきことと組でやるべきことを明確にしてほしいとも思っています。別院もありますし、教化の中心としての役割は果たせていると思いますが、これからどうするのかも課題です。実情から見ますと、本山はにおいても、まず教区と組の見直しと事業連携が個別に進められるべきかもしれません。

これまでの帰敬式実践運動や推進員養成講座など全国の教化事業の実例もあるので、そんな中から「成功例」といっては語弊がありますが、取り上げてゆけるようなことも教えてもらえると、各組も寺も有り難いのではないかと感じたりしています。

教区なり本山としては多分、事業も既に行われており、何度かの総括もはっきりしており、言い尽くされている感があるし、どの事業にも行証道も現れていると思います。

力のある大教区ですし、不要な事業は無いわけですが、全体としてももう少し狙いと事業を絞られた方が、効果的だと感じますが如何でしょうか。

総じて、これ以上となると、実はかなりの積極性が必要で、大変であることは間違い無いように感じます。

けれども、先ほど連帯という言葉を出しましたが、少し不足を感じるのは、まずは、教区内地域間及び全国との交流と友好、それと、自明化された感もある教義教学をさらに解き明かされるような場を願っています。表現に迷いますが、浄土より問われ、時々刻々と娑婆から湧いて来るような無量の課題から、真宗的には、本願の名号念仏という本尊を証していくということになるのでしょうか。教義教学には疎いんですけど、感覚的に、仏教真宗は「異なれる」や「外部」とみなされたところにおいて、深まり広まったような気がします。それが、ブツダ積尊のご生涯がお示しになった重要なことの少なくとも一つではないだろうか、とさえ思っています。自身はこれまでの三蔵自体、とうてい経巡ることを得ずして終始するわけですから。

人権の擁護、保護と養育などの取り組みも多く、教えられて参りましたし、大事だと思いつつ、私は悉く疎かな取り組み状態です。

いずれもしかし、上述のような事情を考えると、生活の運動となった場合、はじめに警戒感や懸念ありき、が健全なんでしょう。それが何をもたらすのか、と。宗門や教区の重点施策にいたしましても、法話講師の選びにしても、法語や用語の説明の選びにしても、身に引き据えたとき、危なくて、辞書の一般論や他人事では済ませない。「上手くいつている」寺や地域に要るのか、一方、いま人の集まる「真実」を含みつつも非真宗的(自他を損なう非人間的迷妄)にある、その間で、ずっと私と地域、延いては人類全員が選ばれるに問われているわけです。一教団に過ぎないけれども、方便としても勢力を保つことも大事だし。本当は何を願っているのか、望みは何か、何をやりたいのか、どう在りたいのか。転じて、千差万別の選びの中に、共有できるものは何か。

仏の道というも、人権という語の論議はともかく、人間尊重、擁護、守護救済救援の願いが込められた、真人の道ともいわれるわけです。自分の出来ることを見つけないという気持ち持ちますが、いつもながら、俺に出来るんかいつ。出来ること、待っておれない、放っておけないことは、間に合わんけれども、と。

教区人の教区人による教区人のための事業で、教務所員が手伝えることは少なく、より良い方向を見つけて運営いただきたい、ということに尽きます。

## 新潟親鸞学会からのお知らせ

### 【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局／超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条教区ホームページの

携帯コードできました！

